

検討のポイント：「誰が」「いつ」「どのように」など、5W1Hで具体的に検討しましょう。

テーマ1 農地（生産緑地・市街化区域内農地）を保全・活用するために **【農地】**

- 論点1-1 生産緑地を保全するには……
 - ・生産緑地の追加指定、特定生産緑地の指定を促進するために、どのような支援が可能か？
- 論点1-2 都市農地の貸借を促進するためには……
 - ・農地を他人に貸すにあたり、農業者にはどのような不安・抵抗等があるか？
 - ・その不安・抵抗等は、どうすれば解消できるのか？
- 論点1-3 相続時に農地を継承してもらうためには……
 - ・これから相続する人に対して、どのような支援が必要・可能か？
 - ・農業との関わりが浅い相続人に対して、どのように農地の保全を働きかければ良いか？
- 論点1-4 農業関連法制度の理解を促進するためには……
 - ・農地を保全・活用するために、どのような取組が必要・可能か？

テーマ2 農業経営を向上させ、農業者がもっと元気になるために **【経営】**

- 論点2-1 各部門（野菜、果樹、植木、花き）における経営力の強化や生産振興策……
 - ・各部門における経営力の強化や生産振興策は、どのような取組が考えられるか？
 - ・農業所得を増やすために、農業者・市・JA・商業者・団体・市民等が出来ることは何か？
- 論点2-2 農業者への支援に対する考え方……
 - ・新しい事業に挑戦したい農業者に対して、誰によるどのような支援が可能か？
 - ・新しい取組等に消極的な農業者に対して、誰によるどのような支援が可能か？
 - ・商工業者への支援と農業者への支援について、どのように扱いバランスをとるか？

テーマ3 地産地消を拡充するために **【地産地消】**

- 論点3-1 地産地消を拡充するには……
 - ・地産地消を拡充するために、どのような取組が考えられるか？
 - ・学校給食の地場産野菜使用率を向上させるために、どのような支援が必要・可能か？
- 論点3-2 販路を拡充するには……
 - ・現在の販路において課題（ネック）になっていることは何か？
 - ・新しい販路として効果的な方法は何か？（B品の利活用、出荷が難しい農業者の支援等）
 - ・新たな販売拠点を立ち上げるとしたら、どのようなものが考えられるか？
- 論点3-3 市民（消費者）のニーズとのマッチング……
 - ・小金井市民に好まれる、ニーズに寄り添う農作物・販売方法はどのようなものが考えられるか？

テーマ4 農業の担い手を広げるために **【担い手】**

- 論点4-1 担い手を育成するために……
 - ・担い手・経営体を育成するために、どのような取組や仕組が有効か？
 - ・後継者を確保・育成するために、どのような支援が有効・可能か？
- 論点4-2 農業者にとってプラスになる「援農」のかたち……
 - ・従来の「援農」は、農業者にとって何がネックになっているか？
 - ・農業者と「援農」希望者のミスマッチを防ぐために何が出来るか？

- 論点4-3 多様な担い手を確保するためには……
 - ・家族以外の担い手の選択肢を広げるために、どのようなことができるか？
 - ・多様な担い手（若者～シニア、女性の参画）を確保するために、どのような取組が有効か？
 - ・新規就農希望者がいた場合、どのような支援が有効・可能か？

テーマ5 「ALLコガネイ」として取り組んでいくために **【連携】**

- 論点5-1 「農x●●」「半農半X」……
 - ・誰と、どのような連携ができるか（できそうか）？
 - ・連携するにあたり、どのようなことが課題になるか（なりそうか）？
 - ・連携した取組を継続するためには、どのようなことが必要か（必要になるか）？
- 論点5-2 新しい「農」のあり方……
 - ・異業種（商業・教育・福祉等）と連携した小金井らしい農業とは？
 - ・地産地消+地産外商などの取組の可能性は？
- 論点5-3 市民や行政を含め横断的な取組みを進めるために……
 - ・横断的な連携をどのように形成するか？
 - ・農業者や市民等が手軽に利用できる情報発信・情報共有のあり方とは？

テーマ6 みんなで支える都市農業を目指すために **【普及】**

- 論点6-1 小金井の農業をもっとPRするには……
 - ・小金井の農業をどのようにPRしていくのが有効か？
 - ・PRにつながる取組には、どのようなコト（人・内容・季節など）が考えられるか？
 - ・イベントを開催するにあたり課題になっている（なりうる）ことはどんなこと？
- 論点6-2 「農」に興味を持つ市民を増やすためには……
 - ・「農」を体験できる機会を充実させるために、どのようなことが考えられるか？
 - ・世代ごとにどのような農への関わり方が考えられるか？
 - ・市民の意識を喚起する「農」に関連した取組として、どのようなことが考えられるか？
 - ・誰を対象に、どのような取組から始めるとヒットするか？
 - ・食や教育と連動した「農」に興味を持つ市民の取組を広げるためには？
- 論点6-3 環境意識の向上・アフターコロナを追い風にするためには……
 - ・フードロスを減らし、農業者の利点にするにはどのような工夫が可能か？
 - ・コロナにより自宅で過ごす時間が増えた市民等にどのようにアピールするか？

テーマ7 「農」の多面的な機能を発揮・活用するために **【多面的機能】**

- 論点7-1 「農」の多面的機能を広め浸透させるためには……
 - ・6つの機能（環境保全・地産地消・防災・交流・景観・食育教育）の何に力を入れるか？
 - ・「農」の多面的機能を活用した小金井らしい取組とは？
- 論点7-2 「農」が有する公的な機能・役割を発揮・活用するためには……
 - ・私有地である農地が有する公的な機能・役割等をどのように捉えるのか？
 - ・そうした「農」に対して、行政としてどのような支援がどこまで可能か？
- 論点7-3 「農」とSDGs……
 - ・「農」から進める小金井版SDGsの可能性は？
 - ・SDGsを通じて、新しい連携の相手・形をつくる可能性は？